

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2019
10

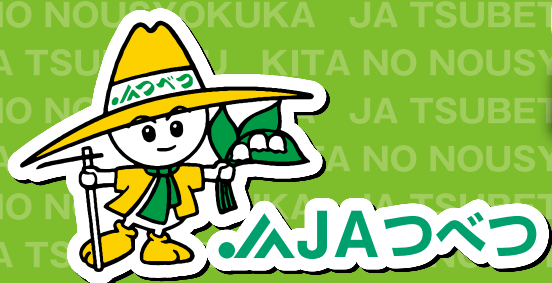
No.274



津別町農業新規参入者受入協議会

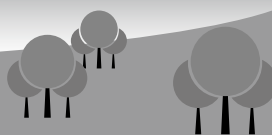
農業実習生との交流会にて

【開催日】 9月6日(金)





JA情報館



津別町農業新規参入者受入協議会 酪農学園大学 農業大学校 実習生受入開始

津別町農業新規参入者受入協議会(会長 川瀬伸二)は、令和元年度農業実習生の受入を行いました。本年度は酪農学園大学4名、農業大学校2名の計6名の学生が畑作農家にホームステイをしながら実習を行っています。

交流会は会長をはじめ、各会員・受入農家と学生、役場、普及センター、JA職員の23名が一同に集まり開催しました。また、(有)だいちでアルバイトをしている慶応義塾大学4年生の女子1名を交え、情報交換と親睦を深めました。各学生の自己紹介では、受入農家の皆さんが温かく接して頂いていると感謝の言葉を述べ、一生忘れない思い出になるとお話しされました。

尚、本実習は8月中旬から9月下旬まで行われました。

東京食肉市場産地研修会開催



東京食肉市場産地研修会が、7月8日(月)～9日(火)津別町にて東京食肉市場職員・買参人を招き市場情勢、ニーズ聞き取り、ニーズに合った肉牛飼養方法について、枝肉価格の高位平準化とブランドの知名度を上げるための新たな購買者を獲得していくために開催されました。黒毛和牛を東京食肉市場に出荷している組合員8戸と東京食肉市場 鈴木大動物事業部長、(株)ウスネフード 川原専務、(株)吉沢畜産 鈴木部長とJA職員で情報交換と現地牧場視察を行いました。鈴木大動物事業部長から「津別町は環境が良い。牛舎の清掃が行き届いており生育が良い事が把握できた。黒毛和牛の東京市場出荷は北海道が栃木県を抜き、出荷頭数全国トップになった。良質牛を出荷していただき発展してもらいたい。」と述べられました。現地研修会は組合員10名が参加し、市場職員、買参人と牧場4戸で飼養環境、施設を視察し、津別町の肉牛生産状況を認識していただき買参人との信頼を深めました。



消火訓練を実施しました!

8月22日(木)ホクレンつべつ給油所にて、当JAの予防規程に基づいた消火訓練を実施しました。

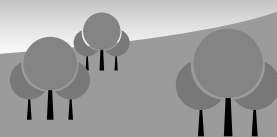


この訓練では、いつ、どこで発生するか予測出来ない災害発生に備え、冷静を保ち適切な初期対応を身につけることで、地域や利用者の方々へ安心と安全を守るために実施しています。訓練にあたり、津別消防署(署長 藤田恭氏)のご協力を頂き、給油所職員全員が水消火栓を使用した消火訓練を行いました。





JA情報館



興では、農産課と共にJAつべつの法被を着て、お神輿に参加し会場を盛り上げました。



9月9日(月)・10日(火)の2日の日程で『つべつふるさとまつり』が開催されました。当JAの店舗では、JA職員16名参加のもと、つべつ和牛を使用した牛串とホルモン焼きうどんを販売しました。当日は天候に恵まれたこともあり、多くのお客様が列を作っていました。また、10日(火)の本祭りのお神

つべつふるさとまつりに出店



津別町有機農業推進協議会(会長 石川剛)は、9月21日(土)北見市のサンドーム北見にて開催された、コープさつぽろ主催による『食べるたいせつフェスティバル2019イン北見』に出店しました。会場では、食について学べる体験、クイズ、試飲や試食、地場産品の販売コーナーなど様々な出店・展示がされていました。その中で、地場産品をPRする一環として、つべつ和牛やオーガニック牛乳、有機ビーフカレーを試食、販売し多くの来場者に知ってもらえることができました。

津別町有機農業推進協議会(会長 石川剛)は、9月21日(土)北見市のサンドーム北見にて開催された、コープさつぽろ主催による『食べるたいせつフェスティバル2019イン北見』に出店しました。会場では、食について学べる体験、クイズ、試飲や試食、地場産品の販売コーナーなど様々な出店・展示がされていました。その中で、地場産品をPRする一環として、つべつ和牛やオーガニック牛乳、有機ビーフカレーを試食、販売し多くの来場者に知ってもらえることができました。

2019 食べるたいせつフェスティバル イン北見に出店



ATMご利用時間の変更のお知らせ

システムメンテナンスのため、下記のとおりATMのご利用時間の変更を行わせていただきます。
ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

変更日

2019年11月10日(日) 当日限り

ご利用時間帯

**【当JAは未稼働日となっております】
なお、当日はコンビニ等のATMのご利用も
10時からとなります。**

お問い合わせ

JAつべつ 貯金共済課

TEL:0152-76-3322/0152-77-3170



営農支援室からのお知らせ



10月中旬～根雪までの営農技術

畑作物

秋まき小麦

－ 雪腐病防除 －

薬剤散布を徹底し、良質麦の安定生産を図って下さい。薬剤の散布から根雪までの期間が長いと降雨により防除効果が低下するので注意が必要です。散布は、より根雪に近い時期が効果的です。なお、残効性に優れる薬剤を用いた早期薬剤散布が可能となったので、平成26年普及推進事項を参考に定められた使用回数を留意して確実に防除して下さい。

【小麦の雪腐黒色小粒菌核病および雪腐大粒菌核病に対する殺菌剤の残効性と防除時期】

対象病害	薬剤名・倍率	積算降水量・日最大降水量	防除時期(例)
雪腐黒色小粒菌核病	フロンサイド水和剤・1000倍	120mm・65mm	11月2～3半旬
	シルバキュアフロアブル・2000倍	100mm・40mm	
雪腐大粒菌核病	フロンサイド水和剤・1000倍	120mm・65mm	
	トップジンM水和剤・2000倍	80mm・40mm	

【小麦雪腐褐色小粒菌核病および褐色雪腐病に対する殺菌剤の残効性と防除時期】

対象病害	薬剤名・倍率	積算降水量	防除時期(例)
雪腐褐色小粒菌核病	フロンサイド水和剤・1000倍	150mm	11月2～3半旬
	シルバキュアフロアブル・2000倍	85mm	
褐色雪腐病	ランマンフロアブル・1000倍	150mm	

※過去30年間で最も早い根雪始(訓子府町11月17日)

ばれいしょ

ばれいしょの収穫跡地は雪踏みを行い、野良いも退治を徹底してみませんか。ばれいしょの塊茎は、埋設位置の地温が日平均 -3°C を下回らないと越冬してしまうため、土壌凍結しない圃場では、野良ばえして後作物等に悪影響を及ぼします。

土壌凍結は、日平均気温が 0°C 以下で積雪深20cm以内の期間に発達しますが、近年、初冬に積雪深が20cmを超え、掘り残しのばれいしょ塊茎の埋設位置まで凍結しない傾向がみられます。このため、ばれいしょの収穫跡地では、雪割りや雪踏みにより土壌凍結を促進し塊茎を凍死させます。雪踏みは、雪が降ったままの状態では空気層が多く断熱効果が高いので、雪を踏むことによって空気層をつぶす方法です。



大型トラックやバスの古タイヤ10～14本などを利用したローラーをトラクターで引っ張ることで土壌凍結を促進します。



興味のある方はJA営農支援室までお問い合わせ下さい。

てんさい

①地力の維持・増進

地力の維持増進を図るため、茎葉の鋤込みは収穫直後に行い、分解を促進できるようにして下さい。ただし土壌水分が多い時など、土壌の物理性を悪化させるような条件では無理して鋤込む必要はありません。

②翌年の作付予定圃場の準備

翌年にてんさいの作付を計画している圃場では、サブソイラ等による排水対策及び石灰質資材の投入など適切な酸度矯正を行っておく必要があります。床土を保管する場合は、土壌水分を30%程度とし、被覆して凍結や雨水の浸入を防いで下さい。

黄化病(旧:西部萎黄病)の発生が見られた圃場では、ビートトップや掘り残し等の収穫後残渣物が翌春に周辺圃場への伝搬の保毒源となるので、しっかりと鋤込み土壌に埋込みましょう。また、媒介虫であるモモアカアブラムシが圃場周辺のハウス等で越冬できないような対策(ハウスピニールの除去、雑草処理、野菜残渣の処理等)を行って下さい。



JA農業経営ステップアップローンのご案内

JAでは組合員の皆さんの農業経営に合わせた様々なニーズに応えるため、たくさんの農業資金メニューをご用意していますが、その中から今回は低利でスピーディな融資が可能な「JA農業経営ステップアップローン」についてご紹介します。

【資金の概要】

項目	条件
対象者	正組合員および正組合員が出資者(株主)となり設立した農業関連事業を行う会社法人
資金使途	・設備資金：農地取得、農業用施設取得、農業用機械取得等 ・運転資金：家畜の導入等農業経営に必要な中長期運転資金
償還年数	25年以内(うち据置5年以内)
担保・保証人	・農業信用基金協会保証を付保することができます。 ・借入者が法人の場合は、原則として代表者を連帯保証人とします。 ※担保については融資機関であるJAの基準によります。

【主なメリット】

系統利子補給でより低利な借入が可能

資金実行日より5年間(農業機械取得等の場合は3年間) 最大1%の利子補給が受けられます。

増頭を目的とした牛導入資金の場合、保証料が免除

増頭を目的とした乳牛や繁殖牛の導入で農業信用基金協会保証を付保する場合、保証料が全額免除されます。

制度資金よりも迅速な対応が可能

JAの資金であるため、制度資金(スーパーL資金等)と比較して、借入申込日から短期間で資金実行ができます。

詳しくは、JAつべつ
融資課にお問い合わせ
下さい



農業者年金

若いうちから!

女性にも!

節税対策にも!



60歳未満
国民年金
第1号被保険者
年間60日以上
農業に従事

以上の要件を満たす方なら
どなたでも加入できます。
詳細はHPにてご案内しております。
お電話でのお問い合わせもお気軽に。

長い老後を最後までサポート!

全額社会保険料控除で大きな節税効果!

保険料国庫補助による手厚い支援!



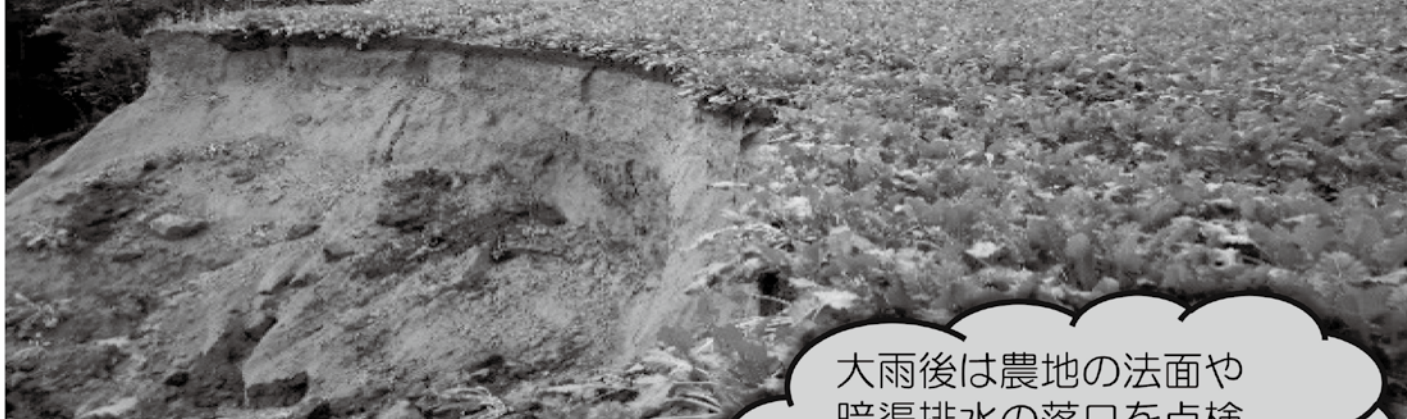
お問い合わせ・ご相談

津別町農業委員会
JAつべつ(営農支援室)

TEL: 0152-76-2151
TEL: 0152-76-3322

防ごう！農地崩落

～大切な農地を災害から守るために～



大雨後は農地の法面や
暗渠排水の落口を点検
して、農地の状況把握
をしましょう。



写真は平成28年8月台風災害被害、平成30年春の融雪被害で崩落した農地の一部です

農地の崩落による土砂の流出は、河川環境への影響だけでなく、農地復旧に多額の費用が係る場合がありますので、関係JAもしくは市町村、オホーツク総合振興局に相談して下さい。

PDFデータ量616KB(0.6MB)

大雨から農地を
守るために

大雨から農地を守るためにに関する資料は、オホーツク総合振興局産業振興部東部耕地出張所HPパンフレットをご覧ください。

URL

<http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tks/grp/DRWG14.pdf>



スマホからのダウンロード
はこちらです



～農地崩落対策プロジェクトチーム～

津別町農業協同組合、美幌町農業協同組合、女満別町農業協同組合、オホーツク網走農業協同組合、網走漁業協同組合、西網走漁業協同組合、JA北海道中央会北見支所、北海道ぎょれん北見支店、北海道開発局網走開発建設部、オホーツク総合振興局、網走市、大空町、美幌町、津別町

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されます。

時間額 **861** 円

（効力発生年月日 令和元年10月3日）

- 最低賃金には、**精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金**は算入されません。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く者には北海道の特定（産業別）最低賃金が適用されます。

・厚生労働省北海道労働局 労働基準部 賃金室 TEL 011-709-2311（内線 3533）

・札幌中央 労働基準監督署 TEL 011-737-1191
・札幌東 労働基準監督署 TEL 011-894-2815
・函館 労働基準監督署 TEL 0138-87-7605
江差駐在事務所 TEL 0139-52-1028
・小樽 労働基準監督署 TEL 0134-33-7651
倶知安支署 TEL 0136-22-0206
・岩見沢 労働基準監督署 TEL 0126-22-4490
・旭川 労働基準監督署 TEL 0166-35-5901
・帯広 労働基準監督署 TEL 0155-22-8100

・滝川 労働基準監督署 TEL 0125-24-7361
・北見 労働基準監督署 TEL 0157-23-7406
・室蘭 労働基準監督署 TEL 0143-23-6131
・釧路 労働基準監督署 TEL 0154-42-9711
・名寄 労働基準監督署 TEL 01654-2-3186
・留萌 労働基準監督署 TEL 0164-42-0463
・稚内 労働基準監督署 TEL 0162-23-3833
・浦河 労働基準監督署 TEL 0146-22-2113
・苫小牧 労働基準監督署 TEL 0144-33-7396

JAグループ通信

■ JA北海道中央会

あれから1年。



感謝の気持ちを
動画でお届け
いたします。

あれから1年
ありがとう! 頑張っています!
左のQRコードの読み取り、またはURLを入力してください。
<http://ja-dosanko.jp/tv/cm.php>

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震から1年が経ち、その間、JAグループ北海道に対して全国の皆様より、多大なるご支援をいただきました。そのご支援に対するお礼として、9月6日の朝日新聞と農業新聞に感謝広告並びに動画メッセージを掲載いたしました。私たちJAグループ北海道は今後とも、被災された組合員・組合員家族を支援して参ります。皆様方からのご支援、本当にありがとうございました。



北海道胆振東部地震に際しまして、日本全国からたくさんの応援や募金を頂きました。深く御礼申し上げます。

JAグループ北海道

■ JA北海道信連



9月5、6日、東京都内で開催された商談会「インフォメーションバザール」に特別協力し、道内14JAとともに出展、道内の農畜産物や加工品を紹介しました。

今年はJA出展エリアの一角に「窓口」を設置しナビゲーター役が各JAのブースを案内したほか、バイヤーズガイド「なまらうまい! JA」を配布し、JAや特産品のPRに工夫を凝らし、より多くの人に道産の魅力を伝えました。



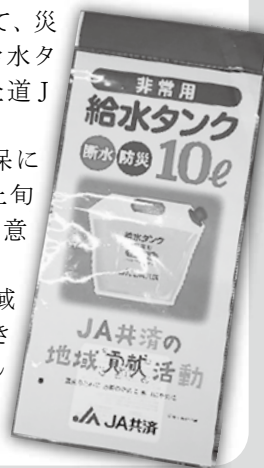
■ JA共済連北海道



JA共済連北海道は、大規模な災害が起きた時の備えとして、災害時に利用できる「非常用給水タンク10リットル」10万個を全道JAに配布いたします。

飲料水や生活用水等の確保に利用することが可能で、9月上旬から配布し、災害への備えの意識向上を呼びかけます。

JA共済連は、組合員・地域住民の安全・安心に貢献できる活動にこれからも取り組んでいきます。



■ ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は、8月25日に開催された「北海道マラソン2019」の前日と前々日に、会場となる大通公園にて北海道産のもち

米を使った「赤飯おこわ」を無料配布しました。マラソンでは、グリコーゲンなどが豊富な食物により体内にエネルギー源をため込むことが推奨されていることから、例年に続きこの取り組みを実施。特設会場で「エナジーブース」という看板を掲げ、もち米が有効であることをアピールしました。

■ JA北海道厚生連



7月26日(金)岡山県で開催された「第60回日本人間ドック学会」の中で、全国の4施設が人間ドック健診施設機能評価優秀賞に選出され、その1施設として旭川厚生病院が表彰されました。今般、平成30年度に人間ドック健診施設機能評価を受審した施設を対象に選考が行われ、「健診当日に健診結果を説明している」「専門スタッフが保健指導を実施している」「精密検査や治療が必要な受診者に対するフォローアップが適切である」が評価され、人間ドック健診施設機能評価優秀賞に選ばれました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



年金友の会情報

第4回 囲碁大会

【開催日】令和元年9月18日(木)
(JAつべつ 3階 休憩室)

優 勝	下川 敏章(五段格) 3勝1負
準優勝	三島 宏章(五段格) 3勝1負
3 位	今井 保(四 段) 3勝1負



JA ホクレン

期間中のお買い求めをオススメします!

営農用 トラック HOKUREN TRUCK LINE-UP

取りまとめ

ISUZU
HINO
UD TRUCK
FUSO
TOYOTA

取りまとめ期間

2019年
11月30
受注分まで



お問い合わせ

JAつべつ 生産資材課(津別町字活汲512番地)
TEL:0152-76-3430

10月下旬・11月上旬の主な行事

10月16日	水	地区共計販売推進（～19日）	11月1日	金	
17日	木	常参会議・JAバンク地区推進委員会 活汲事業所避難訓練・年金友の会囲碁大会	2日	土	
			3日	日	文化の日
18日	金		4日	月	振替休日
19日	土		5日	火	経営会議・職員全体会議 年金友の会道外旅行（～8日）
20日	日	つべつ産業祭り			
21日	月	企画会議	6日	水	廃プラ・廃タイヤ回収日
22日	火	即位礼正殿の儀	7日	木	
23日	水	安全衛生委員会・広域連販売推進（～26日）	8日	金	企画会議
24日	木		9日	土	閉庁日・日甜4ヶ町村欧州視察（～17日）
25日	金	給油所秋フェア（～26日）	10日	日	
26日	土		11日	月	オホーツク青年部研修会
27日	日	東京つべつ会総会	12日	火	JA大会実践フォーラム（～13日）
28日	月	監査代替的調査（～11月1日） 経営体強化プロ現地検討会	13日	水	
			14日	木	コープこうべ北海道祭り（～15日）
29日	火		15日	金	
30日	水	理事会	16日	土	
31日	木		17日	日	

第八回理事会報告

開催日
9月30日

報告事項

- ① 令和元年8月末財務状況について
- ② JA共済コンプライアンス点検結果について
- ③ コンプライアンス事故報告（事務ミス）について
- ④ 総務常任委員会の顛末について
- ⑤ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑥ 各課報告事項

付議事項

- 議案第1号
令和元年7月末自治監査結果について
- 議案第2号
70周年記念誌について
- 議案第3号
畜産収益力等整備事業（機械導入事業）の内諾について
- 議案第4号
固定資産の取得について（信用事業関連）
- 議案第5号
職員人材育成要領の改正について
- 議案第6号
利益相反取引について
- 協議事項
① つべつ産業祭りについて

第9回 つべつ産業まつりを開催します!!

開催日時 令和元年10月20日(日) 午前10時～午後2時30分 雨天決行

開催場所 さんさん館前広場にて

各種の農畜産物販売や馬鈴薯・玉葱詰め放題等を予定しています。
また、例年好評の網走漁協・西網走漁協のご協力を頂き
海産物の販売も予定しています。

実行委員長：山下 邦昭（JAつべつ組合長）
副実行委員長：佐藤 多一（津別町長）・石橋 崇司（津別町商工会長）

※詳細は、開催が近くなりましたらチラシにてお知らせします。



発行 津別町農業協同組合 〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通33番地
☎0152-76-3322 FAX0152-76-3594 貯金共済課直通電話 0152-77-3170
印刷 有限会社 サンケイブリント社

JAつべつ | 検索
<http://www.jatsubetsu.or.jp>